

27～28年度 第1回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会 議事録

開催日時	平成27年6月17日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 旧委員長 ○根岸光司 新委員長 ○山口雄 担当理事 ○水村好男 旧副委員長 ×加藤一郎 ○高橋英二 旧委員 ○福井綾子 ○増田務 ○黒部光司 ○清水康弘 ○小松正道 新委員 ×清水煬二 ×加藤 文一 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○高橋司好 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

新委員で、建築物等調査鑑定業務登録事務所に登録していない人は、手続きを進め登録する事とする。

議題

1. 苦情相談業務日程分担について

- ・7月22日までは、原則、予定表通り旧委員で担当する事とする。
- ・8月5日以降の担当は、新旧が組む形で事務局がたたき台を作成し、メールで配信し、日程調整をする事となった。

2. 苦情相談業務について

1) 苦情相談業務についての説明があった。

- ・匿名での相談は原則受けないとする。
- ・公平な立場で答える。
- ・相談担当者の名前は名乗らない。
- ・電話での相談内容が複雑になれば、面談に導く。
- ・書面は、出さない。(面談時に議事録などを要求されても、渡さない)
- ・面談時、テープレコーダー等の録音は断る。
- ・相談者は、住所地又は相談物件所在地が神奈川県内に限る。
- ・会員からの、相談は受ける。(会員増強の一環として)

2) 苦情相談業務は、前回の委員会から3件の電話相談があった。

- ・相談内容の確認をした。

3. 8月25日(火)開催 調査鑑定研修会について

- ・開催場所・時間は、横浜市技能文化会館 13:00～17:00。
- ・テーマは、『“わかりやすい基礎構造”～トラブル多発の人通孔の計算方法～』。
- ・講師は小松氏、オブザーバー横須賀支部桜井氏。
- ・講義いただく弁護士は、棕副会長から連絡をとっていただく事になった。
- ・質疑応答担当は、棕副会長、小松氏、桜井氏、講義いただく弁護士の4名とする事となった。
- ・開催案内・次第を事務局が作成し、棕副会長と各委員が確認後、周知する事となった。

4. 神奈川・横浜住まいみらい展運営協力者について

- ・山口委員長が担当する事となった。(17日を希望)

5. 副委員長選任

- ・水村担当理事と、清水委員の2名が副委員長に選任された。

6. 次回以降の委員会日程 (いずれも15:00～)

- ・ 7月16日 (木)
- ・ (8月25日 (火) 調査鑑定業務講習会)
- ・ 9月9日 (水)
- ・ 10月14日 (水)
- ・ 11月11日 (水)
- ・ 12月9日 (水)
- ・ 1月13日 (水)
- ・ 2月10日 (水)
- ・ 3月9日 (水)

次回委員会

- ・ 7月16日 (木) 15:00～ 神事協会議室

以上

27～28年度 第2回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会 議事録

開催日時	平成27年8月5日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○高橋司好 ○加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より委嘱状授与

棕副会長より挨拶

苦情相談業務では、個々で抱え込まないようにとの話があった。

議題

1. 苦情相談業務について

- ・前回の委員会から、2件の面談、2件の電話相談があった。
- ・相談内容の確認を行った。
- ・担当者が決まっていなかった9月9日は棕副会長と高橋委員に決まった。

2. 8/25(火)開催 調査鑑定研修会について

(横浜市技能文化会館2階多目的ホール 受付13:15～ 開講13:30～)

1) 次第

時間	内容	講師名
13:30 ～ 13:40	開会の挨拶	(一社)神奈川県建築士事務所協会 副会長 棕 茂廣
13:40 ～ 13:50	基礎構造の問題点について	(一社)神奈川県建築士事務所協会 副会長 棕 茂廣
13:50 ～ 15:05	木造建築物の基礎について	(一社)神奈川県建築士事務所協会 (株)マイ建築構造 小松 正道 (有)桜井建築設計事務所 櫻井 忠
15:05 ～ 15:15	休憩	
15:15 ～ 16:15	実際の紛争事例について	星野総合法律事務所 弁護士 星野秀紀
16:15 ～ 16:45	質疑応答	
16:45 ～ 16:50	閉会の挨拶	(一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会委員長 山口 雄

2) 担当

- ・司会 加藤(一)委員
- ・ビデオ 清水副委員長
- ・受付 高橋委員(その他委員も手伝う)

3) 懇親会

- ・委員は10人出席。
- ・講師の星野弁護士、小松氏、桜井氏に出欠の確認を事務局が行う事となった。
- ・当日、司会が懇親会への参加を呼び掛けることとなった。

次回委員会

9月9日(水) 15:00 ～ 神事協会議室

27～28年度 第3回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会 議事録

開催日時	平成27年9月25日(金)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ×水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ○吉田宣郎 ×中村輝守 ×甘粕博史 ×齋藤清 ○葛野耕司 ○高橋司好 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

山口委員長より挨拶

議題

1. 8月25日(火)開催調査鑑定研修会の反省

- ・出席者数は、85名(会員70名・一般15名)、欠席者は2名との報告があった。
- ・講習内容は好評で、技術的な詳細部分まで聞きたいとの意見があった。
- ・今回は、どのような講習内容を望むか等のアンケートを取ればよかったとの意見が出たことから、次回の講習会では、アンケートを実施する事となった。
→記入するのは備考欄だけにし、あとは○を付けてもらう形にする。無記名にする。
- ・次回の講習内容は、鑑定書の書き方説明、および4号建物の確認申請に問題があると思われることから、内容に取り入れる事としたい。

2. 苦情相談業務について

- ・前回の委員会から、1件の面談、1件の電話相談があった。
- ・相談内容の確認を行った。
- ・メールにて確認していただいた苦情相談報酬の支払いは今月中に振り込む事と、9月30日分は手渡しでお支払するとの報告が事務局よりあった。

3. 横浜弁護士会神奈川住宅紛争審査会より依頼・鑑定人推薦について

- ・加藤文一委員を推薦する事となった。
- ・横浜弁護士会宛に推薦書を作成・送付する事となった。(事務局)

4. 平成28年度事業計画案、予算案について

1) 27年度から変更する箇所

- ・収入の部
調査鑑定事務所登録料が1年分のみの登録料のみ(8,640円×10)。
研修会CD販売無。
- ・支出の部
研修会CD編集及び作成費無。
28~29年度調査鑑定業務登録時に配布する書籍代を、4月以降購入とし28年度に入れる。

5. 次回(2月開催)調査鑑定研修会の日程等について

- ・平成28年2月29日(月)13:00~17:00(会場予約時間)、横浜市技能文化会館多目的ホールとする。
- ・静岡会にもお知らせする事となった。

6. その他

- ・建築物等調査・鑑定登録事務所要綱を下記の通り改訂する事となり、次回理事会に提出する事となった。
登録料 ・(現)10,500円 → (改)10,800円
 ・1年登録(現)8,400円 → (改)8,640円

次回委員会

10月14日(水)15:00~ 神事協会議室

以上

27～28年度 第4回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会 議事録

開催日時	平成27年10月14日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ×清水煬二 委 員 ×加藤文一 ×古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○高橋司好 ○加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

議題

1. 苦情相談業務について
 - ・ 前回の委員会から、1件の電話相談、1件の面談があった。
 - ・ 相談内容の確認を行った。
 - ・ 報告書にする際には、“ミス”という言葉は使わず、指摘を受ければよかった等の文言を使うようにする。
 - ・ 報告書には、断定的な書き方はしない。
2. 平成28年度事業計画案、予算案について
 - 1) 事業計画案について
 - ・ 「机の隅に」の改訂版を作成。
→ 士法改正に対応するため改訂版の作成が必要。
 - ・ 在庫の「机の隅に」は、新入会員に配る。
→ 情報が古くなっているので、“建築基準法・建築士法は改正しているのでご注意ください”と記載した文書を差し込む。
 - 2) 予算要求案について
 - (1) 27年度から変更する箇所
 - ・ 収入の部
調査鑑定事務所登録料が1年分のみの登録料のみ(8,640円×10)
研修会CD販売なし
「机の隅に」改訂版を使用した講習会収入(3,000円×100)
 - ・ 支出の部
研修会CD編集及び作成費無
28～29年度調査鑑定業務登録時に配布する書籍代を、4月以降購入とし28年度に入れる。
「机の隅に」改訂版作成費(150,000円)
3. 平成28年2月29日開催 調査鑑定研修会について
 - ・ 登録方法の説明
 - ・ 調査方法と鑑定書の書き方
 - ・ 4号建物の確認申請の問題点について
 - ・ 保険の事例(保険金がおおりた事例等)、保険の特約について(日事連サービス 中川氏)
 - ・ 工事監理(契約書)について
 - ・ 弁護士の講演

等の意見が出たので、次回委員会で決定する事となった。

次回以降委員会

11月11日(水) 15:00～ 神事協会議室
 12月9日(水) 15:00～ 〃
 1月13日(水) 15:00～ 〃
 2月10日(水) 15:00～ 〃
 3月9日(水) 15:00～ 〃

以上

開催日時	平成27年11月11日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ×水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ×吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ×葛野耕司 ○高橋司好 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

1. 建物についての相談窓口設置について

- 1) 神奈川県が設置した「相談窓口(公社)かながわ住まいまちづくり協会」の協力団体として神奈川県より依頼があり、相談窓口を設置する事となった。
→指導委員会が担当する事となり、従来行っている苦情相談業務内で行う事となった。
- 2) 対応方法が棕副会長より説明があった
 - ・管理組合からの相談のみ受ける。
 - ・管理組合からの相談には、まず施工業者に連絡をし、データ等の情報を得てもらう。
 - ・基本的には、(公社)かながわ住まいまちづくり協会が相談窓口。
 - ・国土交通省が整備した電話相談窓口 (公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター「住まいダイヤル」も紹介する。
 - ・どうしても調べて欲しい等と要望があった場合は、委員会で検討する事となった。
- 3) Q&Aを作成する事となった。
→事務局で作成後、棕副会長が確認。

2. 苦情相談業務について

- ・前回の委員会から、6件の電話相談があった。(面談は0)
- ・相談内容の確認を行った。
- ・相談を受けた際には、具体的な金額等の提示はしないようにする。

3. 平成28年度事業計画案、予算案について

- ・前回の委員会で決まった「机の隅に」改訂版を作成する事とし、作成費用、「机の隅に」改訂版を使用した講習会収入を入れた(案)の通り提出する事となった。

4. 2月29日開催 調査鑑定研修会について、下記の内容が決まった。

- ・調査鑑定業務登録方法の説明
- ・調査方法と鑑定書の書き方
- ・工事監理の責任について
- ・監理責任・設計者責任について(星野弁護士に依頼)

5. その他

面談の報告書を、詳しく記入する様にとの指示があった。
→記入用紙を書きやすく大きくしたものを作成する事となった

次回委員会

12月9日(水) 15:00 ～ 神事協会議室

27～28年度 第6回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会 議事録

開催日時	平成27年12月9日(水)	会場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ×清水煬二 委員 ×加藤文一 ×古居みつ子 ×吉田宣郎 ×中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ×葛野耕司 ○高橋司好 ○加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

1. 苦情相談業務について

- ・前回の委員会から、2件の面談、5件の電話相談があった。
- ・相談内容の確認を行った。
- ・道路問題では、行政に相談に行くようにアドバイスするとよい。
- ・相談を受けた際には、契約書の有無を確認する。
- ・契約書の記載事項が優先になり、載っていない事を要求するのは難しい事から、相談者としても気を付けるべき点である。
- ・建築士事務所として契約する際、契約書には“裁判をおこす際は〇〇裁判所(地元の裁判所)にする”と一文記載する事が大事である。

2. 2/29(月)開催 調査鑑定研修会について

(横浜市技能文化会館2階多目的ホール 受付13:00～ 開講13:20～)

1) 次第

時間	内容	講師名
13:20 ～ 13:25	開会の挨拶	
13:25 ～ 13:40	「建築物等調査・鑑定業務事務所」 登録方法説明	指導委員会
13:40 ～ 15:20	工事監理の責任について	指導委員会
15:20 ～ 15:30	休憩	
15:30 ～ 16:15	監理責任・設計者責任について	星野総合法律事務所 弁護士 星野 秀紀
16:15 ～ 16:45	質疑応答	
16:45 ～ 16:50	閉会の挨拶	

2) 「工事監理の責任について」の講師について

- ・工事監理の経験談を2、3人の委員に1人10分～15分程講義いただき、その後内容についての“落とし穴”などのまとめを棕副会長に講義いただく。
- ・棕副会長に作成いただいたシナリオを元に、次回委員会時に講義担当者を決める事となった。

3. マンション杭問題相談窓口について

- ・相談者は管理組合に限定する。
- ・管理組合からの相談は、まずは神奈川県が開設している相談窓口の「(公社) かながわ住まいまちづくり協会」に相談するように、勧める。

以上

次回委員会

平成 28 年 1 月 13 日 (水)

27～28年度 第7回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会 議事録

開催日時	平成 2 8 年 1 月 1 3 日（水）	会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 （○）	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ×葛野耕司 ○高橋司好 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		
棕副会長より挨拶 山口委員長より挨拶			
1. 苦情相談業務について ・ 前回の委員会から、2 件の電話相談があった。（面談は 0 件） ・ 相談内容の確認を行った。 ・ 相談委員として、相談者に親身になり過ぎない・同情し過ぎない。電話で長くなり過ぎる場合は、資料を用意して面談に来るように案内する。			
2. 2 / 2 9（月）開催 調査鑑定研修会について （横浜市技能文化会館 2 階多目的ホール（舞台側） 受付 1 3 : 0 0 ～ 開講 1 3 : 2 0 ～）			
1) 委員の集合時間は、1 2 時 4 5 分。			
2) 講習会タイトルが『最も効率のよい工事監理の ㊞ テクニックについて』に決まった。			
3) 講師 ・ 「建築物等調査・鑑定業務事務所」登録方法説明、調査方法と鑑定書の書き方 山口委員長 ・ 工事監理方法の効率のよい ㊞ テクニック 棕副会長 ・ 監理責任・設計者責任について 星野弁護士			
4) 担当者 ・ 開会の挨拶 小林会長（来られない場合は山口委員長） ・ 閉会の挨拶 棕副会長 ・ 司会者 水村副委員長 ・ ビデオ撮影 清水副委員長 ・ 受付、会場準備 指導委員、事務局			
5) 周知方法 ・ 開催案内を 2 月号瓦版、日事連会報と同封する。 → 開催案内を事務局にて作成し、メールで指導委員会に流し確認する事となった。 ・ H P 掲載、メーリング。			
6) 次第			
時間	内容	講師名	
13 : 20 ～ 13 : 25	開会の挨拶	小林会長	
13 : 25 ～ 13 : 50	・ 「建築物等調査・鑑定業務事務所」 登録方法説明 ・ 調査方法と鑑定書の書き方	山口委員長	
13 : 50 ～ 15 : 20	工事監理方法の効率のよい ㊞ テクニック	棕副会長	
15 : 20 ～ 15 : 30	休憩		

15 : 30 ～ 16 : 15	監理責任・設計者責任について	星野総合法律事務所 星野弁護士
16 : 15 ～ 16 : 45	質疑応答	
16 : 45 ～ 16 : 50	閉会の挨拶	

- 7) 追加ビデオ講習を、3月18日（金）神事協会議室にて行う事となった。
8) ビデオとは別に、音声のみをＩＣレコーダでも録音する事となった。
9) 資料として「木造住宅の工事監理チェックリスト」を配布する事となった。
→指導委員会にメールで送り、内容を確認する事となった。

3. マンション杭問題相談窓口について

- ・現時点での相談件数は0件。
- ・県等からの情報を、今後もメールにて指導委員会に流す事を確認した。

以上

次回委員会 3月9日（水）15：00～17：00 神事協会議室

開催日時	平成28年3月9日(水)	会場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ×山口雄 副委員長 ×水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ×吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○高橋司好 ○加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

議題

- 2月29日開催 調査鑑定研修会の反省
 - 申込み95名(内1名会員外(静岡会会員)、3名欠席)と報告があった。
 - ビデオの音声等がきれいに撮れていたもので、ビデオ講習会は問題ない。
 - 講師の弁護士が、当日体調不良で来られなかったが、棕副会長に代わりを務めていただいたが、特に混乱もなく無事に終了した。
- 3月18日開催 調査鑑定追加研修会について
 - 2月29日の講習会ビデオを使用し、追加説明等があれば棕副会長に対応いただく事となった。
 - 2月29日の欠席者に追加講習開催の連絡済との報告が事務局よりあった。
- 苦情相談業務について
 - 前回の委員会から、8件の電話相談があった。(面談は0件)
 - 相談内容の確認を行った。
 - 苦情対象事務所が会員の場合は事務所名を聞き、相談者が希望すれば正式に申込みいただき、委員会で検討する事とする。(相談者がどうしたいのかを聞き取る)
- 苦情相談業務 平成28年度担当シフトについて
 - 事務局が作成した(案)を採用し、変更があった箇所を訂正したシフト表をメールにて送付する事となった。
- 横浜市消費生活総合センター 平成28年度覚書について
 - 横浜支部に確認後、覚書を締結する事となった。
 - 横浜支部に依頼する事となるが、報告書は委員会に提出してもらう事とする。
- 横浜弁護士会より依頼 無料合同相談会について
 - 平成28年7月23日(土)開催の、合同相談会の後援と相談員の派遣の伺いがあったが、正式依頼が4月以降に来るとの事なので、次回以降に検討する事となった。
- ブロック支部委員会より依頼 新規開設「建築士事務所」講習会 講師について
 - 新規開設「建築士事務所」講習会 §4. 業務紛争とその事例 の講師派遣依頼が下記の日程であった。
 - 平成28年4月26日(火) 16:15～17:00(45分)
 - 平成28年7月26日(火) //
 - 平成28年10月25日(火) //
 - 平成29年1月24日(火) //
 - ①4月26日の講師は、棕副会長にお引き受けいただき、②～④の講師は次回委員会で決める事とした。
- マンション杭問題相談窓口について
 - 神奈川県より連絡があり、3月末をもって終了する事となった。

8. 広報情報委員会より依頼 瓦版 4 月号「調査鑑定業務研修会報告」執筆者について
・清水副委員長にお引き受けいただいた。

9. 28 年度の委員会日程

平成 28 年 4 月 13 日 (水) 15 : 00 ～
5 月 18 日 (水) 15 : 00 ～
6 月 8 日 (水) 15 : 00 ～
8 月 10 日 (水) 15 : 00 ～
9 月 14 日 (水) 15 : 00 ～
10 月 12 日 (水) 15 : 00 ～
11 月 9 日 (水) 15 : 00 ～
12 月 14 日 (水) 15 : 00 ～
平成 29 年 1 月 11 日 (水) 15 : 00 ～
3 月 8 日 (水) 15 : 00 ～

※講習会は、7 月と 2 月に開催。

次回委員会 平成 28 年 4 月 13 日 (水) 15 : 00 ～ 神事協会議室

以上

開催日時	平成28年4月13日（水）	会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 （○）	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ○古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○吉田雅幸 ○加藤一郎 オブザーバー ○高橋司好 事務局 ○小林恵美		
山口委員長より委嘱状授与 棕副会長より挨拶 議題 1. 3月18日開催 調査鑑定追加研修会の反省 ・申込み11名出席者11名との報告があった。 ・音声はきれいで、ビデオを使用しての講習が出来たと報告があった。 →講師がマイクを手で持ち、講演するとききれいに音声が拾える。ビデオの設置場所もよかったので、次回から同じ場所でビデオ撮影をする事が確認された。 ・講習会時は、棕副会長に待機していただき、質疑応答の対応をしていただいた。 2. 建築物等調査・鑑定業務登録についての報告 ・現時点での登録者数は、65件（内新規7件）との報告があった。 ・指導委員は、強制ではないが全員が登録すべきとの話があった。 →改めて、事務局より申請書を送付する事となった。 ・ホームページに掲載している建築物等調査・鑑定業務登録者名簿から、各事務所のホームページにリンク出来るようにする事となった。 →登録事務所にメールを送付し各事務所の URL を募集する事となった。（メール文は URL 掲載のメリット等を記載した内容で清水副委員長が作成し、事務局に送付する事となった。） 3. 苦情相談業務について 1）苦情相談担当者シフトの確認をした。 変更等があったため、改めて事務局よりシフト表をメールで送付する事となった。 2）苦情相談状況について 前回の委員会から、3件の面談と5件の電話相談があった。 （平成27年度合計数 面談9件、電話相談35件） 3）苦情相談内容の確認を行った。 4）建築士法第27条の5の規定の範囲内で行っている事を確認し、苦情の扱い方の説明が棕副会長よりあった。 4. 7月21日（木）開催 調査鑑定研修会について 次回委員会時（5月18日開催）に、1人1つ講習会のテーマを考えて持ち寄る事となった。欠席者は事前にメールにて事務局に送付する事となった。 5. ブロック支部委員会より依頼 新規開設「建築士事務所」講習会 講師について ・新規開設「建築士事務所」講習会 §4.業務紛争とその事例の講師派遣依頼が下記の日程であった。 ①平成28年4月26日（火）16：15～17：00（45分） ② 〃 7月26日（火） 〃 ③ 〃 10月25日（火） 〃 ④平成29年1月24日（火） 〃			

- ・①4月26日の講師は、棕副会長にお引き受けいただき、②～④の講師は山口委員長、水村副委員長、清水副委員長に担当いただく事となった。(担当日は調整する事となった。)
- (4月26日の棕副会長の講義を参考の為に聴講する事となった)

次回委員会 平成28年5月18日(水) 15:00～ 神事協会議室

以上

開催日時	平成28年5月18日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ×水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ×甘粕博史 ○齋藤清 ×葛野耕司 ○吉田雅幸 ×加藤一郎 オブザーバー ○高橋司好 事務局 ○小林恵美		

山口委員長より挨拶

議題

1. 苦情相談業務について
 - 1) 苦情相談状況について
 前回の委員会から、面談は0件、電話相談は2件あった。
 - 2) 苦情相談内容の確認を行った。
2. 7月21日(木)開催 調査鑑定研修会について
 - 1) テーマについて
 - ・木造基礎について
 - ・隣地に影響する擁壁について
 - ・調査鑑定業務(調査・調査書)料金設定の仕方、聞き取りの仕方、鑑定書の書き方
 - ・既存擁壁についての建物・敷地の安全性
 - ・瑕疵担保責任の改正について
 - ・地盤改良について
 - ・四号特例の構造計算について
 →以上の意見が出た結果、下記に決まった。
 “崖地・既存擁壁の安全性の判定方法と対策”～調査・判定・解決 事例を通しての解説～
 - 2) 講師について
 - ・棕副会長と構造に詳しい方(棕副会長一任)となった。
 - ・今回は、弁護士の講習はなしとなった。
 - 3) 開催案内について
 - ・(案)を事務局にて作成し、メールで委員に送付し添削していただくこととなった。
 - ・会報(日事連会報)6月号に同封する事となった。
3. 熊本地震の支援金に関して、棕副会長から説明と協力のお願いがあった。

次回委員会 平成28年6月8日(水) 15:00～ 神事協会議室

以上

開催日時	平成28年6月8日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ○清水煬二 委員 ×加藤文一 ×古居みつ子 ×吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○吉田雅幸 ○加藤一郎 アドバイザー ○高橋司好 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

議題

1. 苦情相談業務について
 - 1) 苦情相談シフトの確認(変更)を行った。
 - 2) 苦情相談状況について
前回の委員会から、面談は1件、電話相談は1件あった。
 - 3) 苦情相談内容の確認を行った。
2. 7月21日(木)開催 調査鑑定研修会について
(横浜市技能文化会館2階多目的ホール(舞台側) 受付13:15～ 開講13:30～16:50)
 - 1) 委員の集合時間は、12時50分。
 - 2) 講習会タイトル「崖地・擁壁の安全性の判定方法と対策について」
～調査・判定・解決の方法 実例を通しての解説～
 - 3) 担当者
 - ・開会の挨拶 小林会長(来られない場合は山口委員長)
 - ・閉会の挨拶 開会の挨拶を山口委員長がされた場合、水村副委員長
 - ・司会者 吉田(雅)委員
 - ・ビデオ撮影 清水副委員長
 - ・受付、会場準備 指導委員、事務局
 - 4) 現在の申込者数 62名(6/8時点)
 - 5) 次第

時間	内容	講師名
13:30 ～ 13:40	開会の挨拶	小林会長(山口委員長)
13:40 ～ 14:40	神奈川県の崖地・擁壁に関する法令説明	(神奈川県職員) 棕副会長 葛野委員
14:40 ～ 15:40	実例解説1 調査・判定・解決の方法 実例を通しての解説	棕副会長
15:40 ～ 15:50	休憩	
15:50 ～ 16:15	実例解説2 調査・判定・解決の方法 実例を通しての解説	施工業者(賛助会)

16 : 15 ～ 16 : 45	質疑応答	棕副会長 葛野委員
16 : 45 ～ 16 : 50	閉会の挨拶	山口委員長（水村副委員長）

6) 内容・講師等について

- ・「神奈川県崖地・擁壁に関する法令説明」に関して、棕副会長に神奈川県の見解を確認していただき、講演いただけるようであれば講演いただく事となった。
- ・実例解説2の施工業者は、棕副会長に賛助会員の中から選定していただく事となった。

7) 質問書を配布し、質問があった場合は後日ホームページに返答を掲載する事となった。

3. 前委員と現委員との意見交換の場として懇親会（同窓会）を、講習会（7/21）の後、開催する事になった。

→前委員には、事務局からメールでお知らせし、出欠を取る。

以上

次回委員会 8月10日（水）15：00～17：00 神事協会議室

開催日時	平成28年8月10日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ×水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ○吉田宣郎 ×中村輝守 ×甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○吉田雅幸 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

議題

1. 苦情相談業務について
 - 1) 苦情相談状況について
前回の委員会から、面談は2件、電話相談は0件だった。
 - 2) 苦情相談内容の確認を行った。
2. 7月21日(木)開催「崖地・擁壁の安全性の判定方法と対策について」講習会の反省
 - ・申込者は111名(内ポイント利用者15名)、出席者106名、当日欠席者5名との報告があった。
 - ・タイトル・内容が、とてもよかったとの意見があった。
 - ・事例とその解決方法(補修方法)が示せなかった。
 - ・法令解説の時間を短くして、事例についての時間を長く取ればよかったのではとの意見が出た。
 - ・実施報告書について、予算(支出)に資料代が入っていなかった為、次年度は入れる事とする。
3. 8月23日(火)開催「崖地・擁壁の安全性の判定方法と対策について」追加講習会について
(神事協会議室 受付13:15～ 開講13:30～16:50)
 - 1) 担当者
 - ・司会者(開会・閉会挨拶) 山口委員長
 - ・ビデオ撮影 事務局 (ワイヤレスマイクを使用)
 - ・受付会場準備 事務局
 - 2) 資料
7月21日と同じものを使用する。
 - 3) 現在の申込者数 32名(締切済み)
 - 4) 次第

時間	内容	講師名
13:30 ～ 13:40	開会の挨拶	山口委員長
13:40 ～ 14:10	神奈川県の崖地・擁壁に関する 法令説明1	(神奈川県職員) 7/21分ビデオ
14:10 ～ 14:40	神奈川県の崖地・擁壁に関する 法令説明2 (擁壁の種類等)	葛野委員

14 : 40 ～ 14 : 50	休憩	
14 : 50 ～ 16 : 30	実例解説 調査・判定・解決の方法 実例を通しての解説	棕副会長
16 : 30 ～ 16 : 45	質疑応答	棕副会長 葛野委員
16 : 45 ～ 16 : 50	閉会の挨拶	山口委員長

4. 「崖地・擁壁の安全性の判定方法と対策について」講習会 再・追加開催について

- ・ 8 月 2 3 日開催の追加開催も早々に定員に達した為、再・追加開催する事になった。
- ・ 9 月 2 6 日（月）神事協会議室にて開催。
- ・ 神奈川県・葛野委員の部分は、ビデオを上映する事となった。

5. 講習会の内容に絡んだ自然斜面の質問が会員からあったが、内容的に土木の部分となり答えられない旨の回答を、事務局からする事となった。

6. 「調査鑑定研修会」 2 月 2 1 日開催（予定）について

- ・ 横浜市技能文化会館を予約する事が出来ない為、その他の会場を事務局が予約する事となった。第一希望は、横浜情報文化センター（机無）とする。

次回委員会 9 月 1 4 日（水） 1 5 : 0 0 ～ 神事協会議室 （棕副会長欠席）

以上

開催日時	平成28年9月14日(水)	会場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ×水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ○古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ×齋藤清 ○葛野耕司 ○吉田雅幸 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

山口委員長より挨拶

議題

1. 苦情相談業務について

1) 苦情相談状況について

前回の委員会から、面談は1件、電話相談は1件だった。

2) 苦情相談内容の確認を行った。

3) FAXで苦情相談申込(9/14事務局着)があったが、連絡先のTEL・FAX・Mail(住所は有り)が未記載だったものの対応について。

→「申込書は受け取ったが連絡先の記載がない為、連絡出来ない。ご連絡ください。」との文書を事務局より送付する事となった。

4) 担当者シフトの確認(変更)を行った。

→変更後のシフト表を事務局よりメールで送付する事となった。

2. 10月11日(火)開催「崖地・擁壁の安全性の判定方法と対策について」再・追加講習会について

1) 担当者

- ・司会者(開会・閉会挨拶) 山口委員長
- ・ビデオ撮影 事務局(ワイヤレスマイクを使用)
- ・受付会場準備 事務局

2) 資料

- ・7月21日、8月23日と同じものを使用する。

3) 現在の申込者数 27名

4) 次第

時間	内容	講師名
13:30 ～ 13:40	開会の挨拶	山口委員長
13:40 ～ 14:10	神奈川県の崖地・擁壁に関する 法令説明1	(神奈川県職員) 7/21分ビデオ
14:10 ～ 14:40	神奈川県の崖地・擁壁に関する 法令説明2 (擁壁の種類等)	山口委員長 棕副会長
14:40 ～ 14:50	休憩	
14:50 ～ 16:30	実例解説 調査・判定・解決の方法 実例を通しての解説	棕副会長

16 : 30 ～ 16 : 45	質疑応答	棕副会長
16 : 45 ～ 16 : 50	閉会の挨拶	山口委員長

3. 平成 29 年 2 月 21 日(火)開催 調査鑑定業務研修会について

1) 会場について

- ・情文ホール（横浜情報文化センター） 13 : 00 ～ 17 : 00

2) テーマについて

- ・次回委員会（10/12）に、各自提出する事となった。
欠席者は、事前にメールにて事務局に送付する事となった。

4. 平成 29 年度予算要求案について

- 1) 「机の隅に」は作成しない方向になった。
- 2) 研修会費用は従来通り 75 名×2 回で作成。支出に資料代 1,000 円/1 人を計上する。
- 3) 「調査鑑定事務所登録料」は、65 名更新・10 名新規で計上する。
- 4) 予算要求案を事務局にて作成し、次回委員会（10/12）に提出する事となった。

次回委員会 10 月 12 日（水）15 : 00 ～ 神事協会議室

以上

開催日時	平成28年10月12日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ×清水煬二 委員 ○加藤文一 ○古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ×齋藤清 ×葛野耕司 ○吉田雅幸 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

議題

1. 苦情相談業務について

1) 苦情相談状況について

前回の委員会から、面談は2件、電話相談は1件だった。

2) 苦情相談内容の確認を行った。

- ・雨漏りの相談は、原因がわからない事が多いので注意すべきとの話があった。
- ・共同住宅の音の問題は、解決が難しい事から、両者でよく話し合う様にとのアドバイスが良い。
- ・神事協の名前を利用しようとする相談者には、注意するようにとの話があった。

3) リフォーム関係の相談が増えている事から、リフォームに関して神事協がどう絡んでいけるかを今後検討すべきとの意見が出た。

2. 10月11日(火)開催 調査鑑定研修会・再追加開催についての反省

- ・申込が31名あり、内会員が30名、会員外が1名との報告があった。
- ・当日の欠席者は3名。
- ・3回の講習会が全て定員以上となり、大変好評だった。
- ・講習会実施報告書に上記等を記載し、総財務委員長・企画委員長に提出する事となった。(事務局)

3. 平成29年2月21日(火)開催 調査鑑定研修会について

1) テーマ(案)が各委員より提出された

- ・今回の擁壁についての講習会をより実践的な内容について

賛助会員又は外部業者に「検査済み証のない隣地擁壁の安全確認」について、具体的にどのように役所を通したのか、既存擁壁の補強や、既存建物がある状態での擁壁のやりかえ方法・劣化した大谷石の具体的な再生ややりかえ方法と費用等の実例。

- ・「住・緑・家」から、過去にどういう判断基準で施主提出分を委員会のメンバーが選考したか。施主は、最終的にどういう事が気に入って一つを選んだか。その後、選択された設計事務所の苦労や想定外だった事、感想、実務についてのコメントまでもらう。実例。
→指導委員会の研修の幅を広げて、調査鑑定事務所への参加者増にもつなげたい。

- ・過去に日事連に提出した相談記録の中から3つを選んで掘り下げ、モデルケースとして話の不足分は、設定、仮定して事例とする。そのトラブル解決のアドバイス方法、当事者になった場合どのようにして解決すべきか、どうすれば予防できたのかを委員会で充分討論し、発表する。

- ・人通口について(既講習の内容より、より深く)

- ・建築士の罰則・処分についての実例

- ・建築確認を取っていない工場等の増築についてどう判定するか、合法的にどうクリアするか。

- ・用途変更について

- ・建築士としてリフォームに携わる事にあたっての責任

- ・調整区域内での建築の仕方

- ・都市計画法を学ぶ

- ・リフォームできる建築物の見極め方。

- ・建築金物の使い方について

2) 次回委員会にて、テーマを決定する事となった。

4. 平成 29 年度予算要求案について

作成した予算要求案を委員にメールで流し、意見等があれば出してもらった。

次回委員会 11月9日（水）15：00～神事協会議室

以上

開催日時	平成28年11月9日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○吉田雅幸 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

議題

1. 苦情相談業務について
 - 1) 苦情相談状況について
 前回の委員会(10/12)から、面談は1件、電話相談は3件だった。
 - 2) 苦情相談内容の確認を行った。
 リフォームの瑕疵は、基本2年との確認があった。
 - 3) 苦情相談担当者シフトの確認を行った。
2. 平成29年2月21日(火)開催 調査鑑定研修会について
 - 1) テーマについて
 - (1)『四号建物の増改築について』
 - ・建築確認がいない改修工事(大規模修繕・模様替・用途変更)の範囲
 - ・用途変更の方法
 - ・空き家対策 等
 - (2)(1)の内容とし、リフォームについての質問や項目、受講者が興味を持つタイトルを次回委員会までに各自考えてくる事となった。
3. 平成29年度予算要求案について
 「机の隅に」を作成する予算を計上し、作成した「机の隅に」を使用した講習会を開催する予算も計上する。
 →修正した予算要求案を、委員にメールで送付する事となった。確認後、総財務委員会に提出する事となった。
4. 紛争事例について
 新規開設講習会の受講者から、紛争事例についての質問があり、内容について確認を行った。
5. 12月7日(水)弁護士会との意見交換会について
 次回委員会終了後、17:30より神奈川県弁護士会との意見交換会を行うとの報告があり、参加可能な委員の方は参加する事となった。

次回委員会 12月7日(水) 15:00～神事協会議室
 (17:30～ 神奈川県弁護士会との意見交換会)

以上

開催日時	平成28年12月7日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ○清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ×吉田宣郎 ×中村輝守 ×甘粕博史 ×齋藤清 ×葛野耕司 ○吉田雅幸 ○加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

委員会後開催される弁護士との意見交換会については、神奈川県弁護士会が建築士の専門分野についてアドバイスを必要としている事からと、経緯の説明があった。

議題

1. 苦情相談業務について

- 1) 前回の委員会(11/9)から、面談1件の相談があった。
- 2) 苦情相談内容の確認を行った。

2. 平成29年2月21日(火)開催 調査鑑定講習会について

- 1) 日時
平成29年2月21日(火) 受付13:15～ 開講13:30～16:50
- 2) 会場
横浜情報文化センター6階 情文ホール
- 3) テーマ
『空き家対策・既存建物を再活用・再利用するためには・・・』
- 4) 内容
 - ・四号建物の増改築・用途変更について
 - ・社宅から有料老人ホームへの用途変更実例
 - ・その他 用途変更実例
- 5) 周知方法
会報1・2月号同封、HP掲載、メーリングにて行う。
- 6) その他
講習会の内容についての法規・考え方の確認を行った。

次回委員会

12月15日(木) 15:30～(神奈川県民ホール6F大会議室) 合同役員会
1月11日(水) 15:00～ 神事協会議室

以上

委員会終了後、神奈川県弁護士会の弁護士6名と、意見交換会を行った。

意見交換会出席者

棕副会長、山口委員長、清水副委員長、加藤(文)委員、葛野委員、吉田(雅)委員、加藤(一)委員

開催日時	平成29年1月11日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ×清水煬二 委員 ○加藤文一 ×古居みつ子 ○吉田宣郎 ○中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ○葛野耕司 ○吉田雅幸 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

前回議事録確認

議題

1. 苦情相談業務について

- 1) 前回の委員会(12/7)から、電話2件の相談があった。
- 2) 苦情内容の確認を行った。
 - ・前回の弁護士との意見交換会にて、法テラスを利用すれば弁護士費用は初期費用もかからず、分割も可能との情報を得たとの話があった。
 - ・民事調停であれば、安価で申し立てる事が出来る。
 - ・相談にあたっては、相談者の言っている内容を信じすぎない事が大事との話があった。
- 3) 相談シフトの確認を行った。
 - ・最新シフト表を、メールにて各委員に送付する事となった。

2. 平成29年2月21日(火)開催 調査鑑定研修会について

(横浜情報文化センター6階情文ホール 受付13:15～ 開講13:30～16:50)

- 1) 委員の集合は、12時50分
- 2) 講習会タイトル「空き家対策・既存建物を再活用・再利用するためには・・・」
- 3) 担当者
 - ・開会の挨拶 小林会長(参加された場合)
 - ・閉会の挨拶 参加される副会長
 - ・司会者 齋藤委員
 - ・ビデオ撮影 清水副委員長
 - ・受付、会場準備 指導委員、事務局
- 4) 現在の申込者数 29名(1/11時点)

5) 次第

時間	内容	講師名
13:30 ～ 13:35	開会の挨拶	小林会長(予定)
13:35 ～ 13:45	「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」 登録システムについての説明	甘粕委員
13:45 ～ 14:45	社宅から有料老人ホームへの用途変更実例	吉田(雅)委員
14:45 ～ 15:15	その他 用途変更実例	山口委員長

15 : 15 ～ 15 : 25	休憩	
15 : 25 ～ 16 : 20	四号建物の増改築・用途変更	棕副会長
16 : 20 ～ 16 : 45	質疑応答	棕副会長 吉田（雅）委員
16 : 45 ～ 16 : 50	閉会の挨拶	副会長

6) 資料について

- ・ 1週間前までに事務局にデータを送付していただき、事務局にて配布資料を作成する事となった。

3. その他

- ・ 宅地建物取引業法の改正がある事から、指導委員会では内容を把握しておく必要がある。
→事務局より、委員に資料をメールにて送付する事となった。
- ・ 相模原支部主催『景観と空き家の新規事業講習会』が2月14日に開催される。
→事務局より、委員に開催案内をメールにて送付する事になった。

以上

次回委員会 2月21日（火）講習会 横浜情報文化センター6階情文ホール 12:50 集合
3月8日（水）15:00～17:00 神事協会議室

開催日時	平成29年3月8日(水)	会 場	(一社)神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○棕茂廣 委員長 ○山口雄 副委員長 ○水村好男 ○清水煬二 委 員 員 ×加藤文一 ○古居みつ子 ○吉田宣郎 ×中村輝守 ○甘粕博史 ○齋藤清 ×葛野耕司 ○吉田雅幸 ×加藤一郎 事務局 ○小林恵美		

棕副会長より挨拶

2/21の講習会はお疲れ様でした。人数も集まり、内容も好評だった、との話があった。

議題

1. 2月21日開催「空き家対策・既存建物を再活用・再利用するためには・・・」講習会の反省
 - ・講習内容が好評だった。
 - ・申込者は80名(内ポイント利用者15名)、出席者75名、当日欠席者5名との報告があった。
 - ・予定より会場費が高くなった事、ポイント使用者が多かった為、予算より収支差額がマイナスとなってしまう。
 - ・ビデオは、映像・音声共に綺麗に撮れていたと報告があった。
 - ・挨拶者、講師を紹介する時に、(一社)神奈川県建築士事務所協会と付けた方がよかったのではとの意見が出た。
 - ・ビデオ講習等を考慮し、説明時に頁数を講師に言っていただく方が良いのではとの意見が出た。
2. 苦情相談業務について
 - 1) 前回の委員会(1/11)から、面談1件の相談があった。
 - 2) 苦情内容の確認を行った。(3/8 電話相談分含む)
 - 3) 苦情相談業務 平成29年度担当シフトについて
 - ・7月5日までの担当シフトの確認を行った。
 - (案)で配布したシフト表に訂正があった為、新しいシフト表を作成し、メールで送付する事となった。
 - ・新しい体制になっても、新しく就任される委員が多い場合、年内位までは旧委員で担当するとの確認があった。
3. 横浜市消費生活センター 平成29年度覚書について
 覚書を締結する事となった。(対応は、従来通り横浜支部)
4. その他
 - ・広報情報委員会より、瓦版4月号(3/23㍻切・A4半頁)に2/21の講習会報告の寄稿依頼があった。
 - 吉田(雅)委員に執筆していただく事となった。
 - ・「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」の新規申請が現時点で4件との報告があった。(3/10㍻切)
 - ・平成29年度の委員会日程を毎月第2水曜日とし、日程の確認を行った。
 - 平成29年4月12日(水)、5月10日(水)、6月14日(水)、7月12日(水)、9月13日(水)、10月11日(水)、11月8日(水)、12月13日(水)
 - 平成30年1月10日(水)、2月14日(水)、3月14日(水)
 - ・次回講習会日程
 - 平成29年8月7日(月)

以上